

春闘・職場から闘うぞ！

第25回定期地本委員会開催

『ベア6,000円獲得！定昇6,000円獲得！格差ベアを許さず、定昇経年減額に反対しJR東海に働くすべての労働者の労働条件向上を目指し2020JR総連春闘を闘おう！！』を



スローガンに、第25回定期地本委員会が多く組合員とOBの参加で大崎第一区民集会所にて2月23日に開催されました。

議長には東京第一運輸所分会の小島委員を選出し、議事が進められました。

冒頭、杉澤委員長から、トヨタ労組の人事考課による賃上げ要求は問題である。

私たちは、2020JR総連春闘を統一闘争として闘う。また、会社は新型コロナウイルスに対し、社員のマスク着用等の感染防止対策や危機管理が出来ていないので緊急申し入れを行った等の挨拶を行いました。

来賓として木下本部委員長、淵上総連法対・調査部長、尾崎地本OB会長から激励と連帯の挨拶を受けました。

質疑では、地区分会からは、トラベルサポートセンター発足して一年半過ぎたが、この間24名採用で13名退職した。セクハラ問題で会社の対応がおかしい。3月の団体交渉で追求していく。また、水野さんの裁判勝利に向けて闘って行く。



車両所分会からは、東京都労働委員会で完全勝利した。いま、中労委で闘っているが組合側の準備書面に対して会社側は反論は無いと言ってきた。勝利的に進んでいる。



運輸所分会からは、年休裁判等の闘いにより、25日の勤務指定で年休発給と予備月の勤務指定を勝ち取った。原告組合員の年休申請に対して会社のミスで年休付与がされなかった。謝罪を求めていく。などの発言がありました。

これらの発言に対して執行部および伊藤書記長の総括答弁で答え、当面する活動方針を満場一致で確認し、杉澤委員長の団結ガンバロウ三唱で委員会は成功裏に終了しました。